

大阪大学図書館報

Vol.14, No. 5/6 February 1981

目 次

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| ○鴻池家文書について | ○教官著作寄贈図書 |
| ○書庫棟の増築について | ○本館受入参考図書 |
| ○文部省配分外国雑誌購入費について | ○会 議 |
| ○昭和55年度上半期国立大学等図書館間
文献複写実績 | ○日 程 |
| ○特別図書購入一覧(その3) | ○館内の動き |
| | ○人 事 |

鴻池家文書について

作 道 洋太郎

江戸期豪商として知られる鴻池家所蔵の古文書約 800 点が、鴻池善右衛門氏のご好意により経済学部経済史研究室に割愛されたのは昭和39年のことであった。研究室における鴻池家の研究は、32年の頃から宮本又次先生を中心としてはじめられ、研究室のメンバーは当時今橋にあった鴻池家の事務所に通って古文書を閲覧させていただいていた。その翌年の33年には、宮本先生がいちはやく『鴻池善右衛門』（吉川弘文館発行）と題した研究書をまとめられ、それ以来研究室では鴻池研究熱が一挙に盛りあがったように記憶している。

その頃、約2万点に達する鴻池家所蔵文書は東大阪市の鴻池新田会所に所蔵されており、今橋の事務所に勤務されていた平井鋭夫氏がその都度何点かず新田会所から事務所まで持ち運んでくださっていた。そのような状態がしばらくつづいたが、35～36年の夏、新田会所の近くにあった本学鴻池寮の部屋を休暇のあいだ1週間から10日間ぐらいのあいだ借りて、毎日新田会所に出入りして史料を閲覧した。そのメンバーは、安岡重明（現在、同志社大学教授）・藤田貞一郎（同）・川上雅（元金沢大学講師）の各氏と私の4名であった。宮本先生も時々陣中見舞に来てくださり、鴻池フィーバーは高められて行った。当時、上智大学に勤務していた森泰博氏（現在、関西学院大学教授）もしばらくして研究に参加された。鴻池フィーバーが東京にも伝わったからであろう。このようにして、江戸期大阪の代表的な商家の経営が明らかにされ、わたくしどもの研究室に従来の経済史的アプローチに加えて、新しい経営史的アプローチの基礎がつくられたように思われる。研究資料として、さきに述べたように約800点を譲り受けたのも、こうした状況の中においてであった。

その後、鴻池家のご配慮をえて、数千点の同家文書をしばらく大学に寄託していただいた。それに勢いを得て、わたくしどもは鴻池の研究を本格的に進めることができたが、44年の大

学紛争のさい経済学部も封鎖され、しばらく研究は中断した。その封鎖の寸前、数千点の文書をかかえて、宮本先生とともにしばらくの間の疎開先を探し求めた。大ビルの工藤友恵さんをお願いしてみようということになり、お伺いしたところ、快く大ビルの倉庫に預ってくださった。研究に必要なときには、いつでも大ビルに来て文書を取り出して調べて下さいといわれ、その義侠心には心をうたれた。宮本先生が『追想集工藤友恵』（昭和48年発行）に寄せられた追悼記のなかで、この話にふれておられるが、先生もやはり感激されたのであろう。

現在、研究室に架蔵している鴻池家旧蔵文書約800点のなかには、鴻池両替店の経営に関する基本的なものが多く、なかでも大名貸しのさいの交渉過程を詳細に記録した数十冊の「掛合控」は大名財政の実情を知る上で実に興味深いものがあり、また幕府による貨幣改鑄の結果行なわれた新旧両貨の交換状況を記録した「金銀引替御用之元帳」は大阪金融市場の構造を知るためにも欠かせぬ史料である。今後、大阪経済史や日本経営史の研究が進むともなっていて、この史料的価値はさらに高まることと思われる。

この鴻池両替店について思い起こされることは、さる55年1月、鴻池両替店の遺構の大部分が大阪美術倶楽部の増築のため撤去されたことである。この遺構はもと延宝2年（1674）に構築され、天保8年（1837）の大塩の乱のとき約7割が焼失し、建て継がれて再建されたものである。美術倶楽部では、この遺構のうち、大名諸侯が大名貸しを受けるとき対談の間であった「扇の間」や、鴻池一族が正月を祝った「四君子の間」は保存し、鴻池両替店の面影を一部船場の地に残したが、今橋通りに面した遺構の大部分である長屋門は奈良市に居住される篤志家に引き取られて船場の地を離れた。

歴史的都市景観の保存の必要性が唱えられてからすでに久しい。都市の再開発にともなう文化破壊に対していかに対応すればよいのか、これは現代に課せられた大きな問題である。

西鶴が『日本永代蔵』（貞享5年＝元禄元年刊行）のなかで、「難波の津にも、江戸酒作り始めて、一門栄ゆるもあり」と述べ、清酒の江戸送りに成功し、それを基盤にして両替商として致富の道を歩んだ鴻池に注目している。このように鴻池の繁栄を描いた西鶴は、船場の一角にそびえ立つ鴻池の長屋門を打ち眺めたことであろう。そうして西鶴は「金銀が町人の氏系図になるぞかし」という元禄期をたくましく生き抜くための金銭の哲理を発見したのであろう。

この鴻池家伝来の古文書類は、本学架蔵のもののほか、大部分は東大阪市の鴻池合名会社において所蔵されており、東京の三井文庫、神戸の住友修史室に所蔵の住友家文書とともに、江戸期の「三大豪福」の成長過程を明らかにすることができる貴重な歴史資料である。江戸期が新しい視点から見直されようとしている現在、これらの豪商の記録から再発見しうことは少なくないように思われる。
(経済学部教授)

書庫棟の増築について

—経過と現状— 本館としての独立書庫は、昭和35年4月に、閲覧棟759㎡と、書庫790㎡の建物が第一期工事として竣工し、昭和41年増築、昭和47年3月に閲覧棟2,887㎡と共に書庫1,560㎡の建物が第三期工事として増築され現在に至っている。

その後、蔵書冊数の著しい増加に伴い、書庫の増築が緊急となり、昭和53年度に書庫棟増築の計画案が出された。昭和55年4月1日現在、豊中地区の蔵書数は1,041,042冊であり、前年度より、約7%増となっている。現在、図書館の書庫には、約425,000冊、開架図書室およ

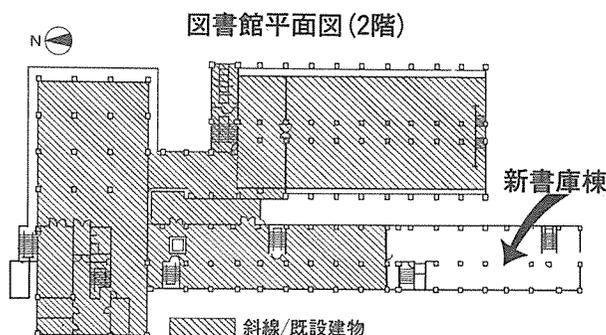
び、参考図書室で約80,000冊を収蔵し、すでに飽和点に達しているのが実態である。

また、年間の受入増加冊数は、豊中地区で67,986冊あり、これは、昨年より、約11%増となっている。過去、平均して、約5%の図書が各前年より増加しており、今後の増加冊数を考慮した場合、新に収蔵すべき余地がないため分室、資料室などへ分散を余儀なくされる結果、共同利用等が阻害され、図書の管理・運用の面からも問題となる。

幸い、この本館書庫棟の増築案は、前述のとおり、昭和53年7月21日開催の図書館委員会で説明され、昭和54年度新規概算案に出すこととなった。これが、昭和55年度に当該予算が認められ、昭和55年9月の附属図書館豊中地区運営委員会で、書庫増築等について説明があり、ほぼ原案通り承認された。

昭和55年11月8日、施工者、大林組のもとで着工の運びとなり、竣工は、昭和56年3月末日の予定である。

一計画案概要一 増築書庫棟は、既設書庫棟とほとんど連結する形となり、その位置は下図のとおりである。



- 書庫棟の増築に当たって、図書館は
- (1) 保存書庫としての役割を持つこと。従って、図書収納能力の増加を最重点としたこと。
 - (2) そのため一階(2層)に、可動式書架の新設や、5階(6層)に、特殊資料(不定形)の特別室を設けること。
 - (3) 窓枠については、防水性・気密性の高いものにする。等の諸点についての基本方針を要望した。

新書庫棟は、地下1階、地上5階(約1,950㎡)で、設計図の確定までには、建築基準、消防等の各法令との関連で、紆余曲折(うよきよくせつ)があった。特に、消防法は、年ごとに改正され、しだいに厳しくなる傾向にあるといわれている。

たとえば、新書庫棟の地下1階(一層)のように開口部のない耐火構造区画では、別の防火対象物とみなされるため、旧書庫棟をふくめて、いわゆる“スプリンクラー”の設置が必要となった。そのことにより、地下1階のみ、各書架の最上段部の棚一段を撤去しなくてはならなくなった。

昨秋、着工以来、懸念されていた基礎工事の矢板・杭打ち期間中における閲覧業務、特に貸出返却手続については工事による振動の影響から電算機を停めたため一部作業も余儀なくされた。また、工事の騒音や貸出時間の変更などにより、利用者のみなさんにご迷惑をおかけしたことと思う。

一収蔵冊数一 新書庫棟が完成すると、約36万冊が新しく収蔵可能となる。これは、基本方針にもあるように、収容力を増やすことに重点をおいたためで、各階の書架を、窓側寄りにできるだけのばすことで、増収を図ったものである。

地下1階では、新聞棚を新設し、荷重の関係で1階(2層)に、電動集密書架を設けて収蔵効率を上げることにしている。各層、平均6万冊前後の収蔵が見込まれている。

この書庫棟増築の機会に現在、豊中地区各部局等へ公用貸出中の図書について各講座・資料室等から図書館への“返却”が、当然予想されるので、昨年からの冊数を調査依頼中である。旧書庫所蔵の図書とこれらの返却図書をあわせて円滑な移動、配架が出来るよう検討している。

文部省配分外国雑誌購入費について

文部省は昭和52年以来、学術雑誌を集中管理し、共同利用することにより、効果的に資料を利用することが出来るよう、大学図書館を整備充実することを目的として自然科学系の外国雑誌購入費の予算配分を行なっている。本年度は、昭和55年10月24日付で本学に予算配分があった。第1種（学内共同利用分）については、8,000千円（昭和54年度配分8,000千円）の配分があり、前年度と同額であったので新規にタイトルの増加は行なわなかった。又、第3種（拠点図書館分）は37,000千円（昭和54年度配分26,496千円）の配分があり、本年度増加分10,504千円について新たに688タイトルの購入を行なった。

なお、第3種については、他の医歯薬関係の拠点図書館である東北大学、九州大学の医学図書館と十分調整の上タイトルを決定した。

昭和55年度上半期 国立大学等図書館間文献複写実績

複写データ処理センターとして、第3回目の計算処理を行ない期日までに文部省及び各大学図書館等に結果を送付した。今回のデータは各国立大学、高専等の図書館間において昭和55年4月～9月の期間に文献複写の受付処理がなされたもので、ほぼ60,000件に達した。前2回の件数は昭和54年上期約46,000件、下期約51,000件で下期は上期の12%増であったが、今回は前回下期に比べ16%増になっている。今回と1年前の昭和54年上期と比べると件数で約14,000件、約30%増になり大巾な増加となった。

特別図書購入一覧（その3）

法 学 部

年 度	資 料 名	巻・年	冊 数	備 考
昭和45年度	Deutsches Verwaltungsblatt. (ドイツ行政法雑誌)	Vols. 1-66 (1879-1951)	66Vols.	
	Schweizerische Juristen-Zeitung. (スイス法学論叢)	Vols. 1-60 (1904-1964)	60Vols.	
	Hague. Permanent Court of International Justice. Publications. (ハーグ常設国際司法裁判所 刊行物)	Ser. A 1-24, Ser. B 1-16, Ser. A/B 40 -80, Ser. C 1-19, 52-87, Ser. D1-6, Ser. E1-16, Ser. F1-4. (1921-1945)	12Vols.	Ser. C20-51: not published
46年度	Gazette du Palais. (裁判所新聞)	Année 1-82 (1881-1962)	82Vols.	
47年度	United States Statutes at Large. (アメリカ合衆国連邦法令集)	Vols. 1-36, 3 8-45, 50-78.	126Vols.	

		(1845-1964)			
	Gewerblicher Rechtsschutz und Urheberrecht. & Ausland und Internationaler Teil. (産業保護 法及び著作権法)	Vols. 50-71. (1948-1969) Auslands. (1952-1969)	40 Vols.	(本 館)	
48年度	Monumenta Germaniae Historica. (ゲルマニア史誌) Scriptures.	Vols. 1-3, 5- 10 (1826-1965)	106 Vols.		
	Leges.	Vols. 1-4 (1835-1968)	37 Vols.		
	Diplomats.	Vols. 1-2 (1872-1969)	3 Vols.		
49年度	法典調査会議事速記録。民法草案議 事筆記、民法草案ニ関スル諸意見 並雑書、商法草案議事速記録		247 Nos.		
50年度	Foro Itariano. (イタリア判例法律 年書)	(1876-1968)	137 Vols.		
	Entscheidungen des Preussischen Oberverwaltungsgerichts. (プロイセン王国高等行政裁判所 判例集)	Vols. 1-106 (1877-1941)	157 Vols.		
	Zeitschrift für Vergleichende Rechtswissenschaft. (比較法学 雑誌)	Vols. 1-73 (1878-1973)	73 Vols.		
	United States Federal Trade Commission Decisions. (アメリ カ合衆国連邦取引委員会判例集)	Vols. 1-65 (1920-1969)	65 Vols.		
	Political Science Quarterly. (政治 学雑誌)	Vols. 1-66 (1886-1951)	66 Vols.		
	悟陰文庫 井上毅文書	Vols. 1-94	94 reels.	マイクロフィルム	
51年度	Law and Contemporary Problems, Duke University. (デューク大学 法と現代的課題)	Vols. 1-37 (1933-1972)	37 Vols.		
	Nippon; Philipp Franz von Siebold. (日本; フィリップ・フ ランツ・フォン・シーボルト 日 本およびその近国保護下の国の宝 典)	Vols. 1-6 (1975)	6 Vols.		
	Boston University Law Review. (ボストン大学ロー・レビュー)	Vols. 1-34 (1921-1954)	34 Vols.		
	帝国議会誌	第55-92回 (1928-1947)	54 Vols.	reprint	
52年度	National Reporter System. Federal Reporter 2nd Series. New York Supplement, 2nd Series. (米国判例集・連邦裁判 所の部)	Vols. 354-499 (1966-1975) Vols. 237-253 (1963-1965)	163 Vols.		
	American Jurisprudence, 2nd (アメリカ法学)	Vols. 1-82 (1962-1976)	82 Vols.		
53年度	Tax Law Review. (税法評論)	Vols. 1-27	27 Vols.		

54年度	Halsbury's Statutes of England. Third ed. (ホールズベリーの英 国法律集)	(1945-1972) Vols. 1-47 Index. (1968-1978)	49Vols.	reprint.
	Schriftenreihe der Hochschule Speyer. (シェパイヤー大学叢書)	Band. 11-69 (1961-1977)	60Vols.	
	Words and Phrases. (法律用語と 語法)	Vols. 1-46 (1964-1940)	90Vols.	
	Cornell Law Review. (コーネル 大学法学四季報)	Vols. 1-62 (1915-1977)	62Vols.	
	English reports. (英国判例集)	Vols. 1-60 (1900-1906) (1867-1945)	60Vols.	
	Reichsgesetzblatt. (ドイツ帝国法 令集) Bundesgesetzblatt. (ドイツ連邦 共和国法令集)	(1949-1975)	168Vols.	

教官著作寄贈図書

——本 館——

久貴忠彦 (法・教授)

親子の法律 太田武男、久貴忠彦著
新版 (有斐閣 昭55)

林 毅 (法・助教授)

ドイツ中世都市と都市法 林 毅著
(創文社 昭55)

山田祥一郎 (教・教授)

配位化合物の構造 山田祥一郎著
(化学同人 昭55)

佐藤清郎 (言・教授)

チェーホフ 芸術の世界 佐藤清郎著
(筑摩書房 昭55)

チェーホフ劇の世界 その構造と思想
佐藤清郎著 (筑摩書房 昭55)

——理学部分室——

森田正人 (理・教授)

対称性原理—物質と宇宙を支配する右と
左— 森田正人著 (講談社 昭55)

——中之島分館——

中川米造 (医・教授)

医療行為の論理 (医学概論講座)

中川 米造著 (医療図書出版 昭55)

——吹田分館——

杉山 博 (工・教授)

確率統計要論 杉山 博著 新編
(養賢堂 昭55)

鈴木 伴 (工・教授)

消費の時代を超えて D.ガボール他著
鈴木 伴訳 (ダイヤモンド社 昭54)

寺田浩詔 (工・教授)

Z-80マイクロコンピュータ (マイクロ
コンピュータ シリーズ11)

Barden, W. Jr.著 寺田浩詔監訳
(丸善 昭54)

浜口智尋 (工・助教授)

現代電子工学基礎論 御子柴宣夫、阿部
寛、浜口智尋著 (オーム社 昭55)

紙野桂人 (工・助教授)

見る環境のデザイン 紙野桂人著
(学芸出版社 昭55)

藤田邦昭 (工・講師)

実践としての都市再開発 藤田邦昭著
(学芸出版社 昭55)

本館受入参考図書

(昭和55年7~12月)

◇ 総記 ◇

Terminology of documentation. by

Wersig. G. (Unesco Press)

全国古本屋地図 改訂新版(日本古書通信)

20世紀文献要覧大系 4. ドイツ文学研究
文献要覧 1945~1977 森本浩介編;

7. 文化人類学研究文献要覧 1945-74
佐野 真編; 8. 日本文学・語学研究

英語文献要覧 吉崎泰博編; 9. 中国文
学研究文献要覧 1945-77 吉田誠夫他

編 (日外アソシエーツ)

旧植民地関係機関刊行物総合目録 台湾編

; 満州国・関東州編; 朝鮮編; 南満州
鉄道株式会社編 (アジア経済研究所)

Книжная летопись. (Tom)49-70. 1928-31.

(Kraus Reprint)

Журнальная летопись (Tom)26-44.

1935-38. (Kraus Reprint)

Popular names of U.S. Government
reports. ed. Library of Congress.

(U.S.G.P.O.)

Walford's guide to reference material

Vol. ed. by A.J. Walford. 4th ed

(Library Association)

The Library of Congress Main Reading

Room reference collection Subject

catalog. by K.A. Gardner. (L.C.)

The Encyclopedia Americana. Vol.

1-30. (Americana Corp.)

Periodical title abbreviations. by

Alkire, L.G. 2d ed. (Gale Research)

Magazines for libraries. 3d ed. (Bowker)

BLL conference index 1964-1973.

(British Library Lending Division)

Index of conference proceedings

received 1974-1978. Vol.1-2.

(British Library Lending Division)

Councils, Committees, and boards. ed.

Anderson, I.G. 4th ed. (Beckenham)

◇ 哲学 ◇

漢学者伝記集成 竹林貫一編(名著刊行会)

岩波哲学小辞典 粟田賢三、古在由重編

(岩波書店)

心理学小辞典 大山正(他)編 (有斐閣)

内村鑑三研究文献目録 増補版 品川 力
編 (荒竹出版)

◇ 歴史 ◇

藩史総覧 (新人物往来社)

日本近現史文献解題 佐治芳雄編(宗高書房)

現代日本執筆者大事典 第5巻 佃 実夫
〔他〕編 (日外アソシエーツ)

Biographisches Wörterbuch zur
deutschen Geschichte. Bd.1-3.ed. H.

Rössler and G. Franz. 2 Aufl.

(Francke)

A dictionary of British surnames. 2d

ed. by R.M. Wilson (Routledge)

International geographic encyclopedia

and atlas. (Macmillan)

全国市町村名変遷総覧 (日本加除出版)

中部の市街古図、中国・四国の市街古図

原田伴彦(他)編 (鹿島出版会)

◇ 社会科学 ◇

世界の日本人観・日本学総解説 筑紫哲也
編 (自由国民社)

United States government manual

1979-1980 (National Archives and

Records Service)

憲法小辞典 伊藤正己(他)編 増補版

(有斐閣)

経営・経済欧文略語ハンドブック 日本経

営協会編 (日本経営出版会)

会社史・産業史・商業資料蔵書目録 長尾

隆次編 (長尾隆次資料室)

Catalog of publications 1790-1972.

(U.S. Bureau of the Census)

教科用図書目録 東書文庫所蔵 第1集

(東京書籍)

研究者・研究課題総覧 人文・社会科学編

; 自然科学編 1979年版(日本学術振興会)

Study abroad; international scholarships

international courses 1979-1981.

(UNESCO)

社会教育ハンドブック 社会教育推進全国

協議会編 (総合労働研究所)

◇ 自然科学 ◇

科学用語語源辞典 独一日一英 ラテン語

編; ギリシア語編 大月真一郎著

(同学社)

研究テーマ事典 学界編第1次
(日本ビジネスレポート)

Kluwer's universeel technisch
woordenboek Nederlands-Frans. by
G. S. Stekhoven.

(Kluwer Technische Boeken)

Science and technology. by Grogan, D.
3d ed. (Clive Bingley)

Technical writing. by Andrews, D. C.
(Macmillan)

物理実験事典 池本義夫編 3訂増補
(講談社)

化学略語記号辞典 英・独・羅・日 増補
版 橋本吉郎著 (三共出版)

生化学データブック 1-2 日本生化学会
編 (東京化学同人)

◇ 工学・技術 ◇

英和和英コンピュータ用語辞典 渡辺一郎
〔他〕著 (富士書房)

情報処理ハンドブック 情報処理学会編
新版 (オーム社)

マイクロコンピュータハンドブック 森
亮一編 (朝倉書店)

英文科学技術略語大辞典 (オーム社)

Encyclopaedia of world architecture.
by Stierlin, H. (Macmillan)

建築学便覧 1計画 日本建築学会編
第2版 (丸善)

電気工学ハンドブック 1978
(電気学会)

データ通信用語辞典 同編集委員会編
(ラテイス)

電気化学便覧 電気化学協会編 新版
(丸善)

◇ 語 学 ◇

国語史辞典 林巨樹〔他〕編 (東京堂出版)

現代流行語辞典 奥山益朗編 (東京堂出版)

英語学・英語教育研究事典 高本捨三郎編
(南雲堂)

斎藤和英大辞典 斎藤秀三郎著
(名著普及会)

Harrap's new standard French and
English dictionary. Vol. 3-4. by
Mansion, J. E. (Harrap)

現代フランス語法辞典 Rietsch, P. 著
石沢良昭〔他〕訳 (大修館)

◇ 文 学 ◇

Brewer's dictionary of phrase and
fable. by Ivor H. Evans. (Cassell)

A literary tour guide to the United
States, West and Midwest; South
and Southwest. by Stein, R. (Morrow)

Shakespeare's world: Renaissance intellectual
contexts. by Elton, W. (Garland Pub.)

トマス・ハーディの書誌 完本版 山本文
之助著 (千城書房)

会 議

——薬学部分館運営委員会——

55. 11. 4(火)11:00~11:30(薬学部会議室)

協議事項 薬学部分館長の改選について、現分館長鎌田皎教授が12月19日付け任期満了となるため、後任分館長の選出に当り投票を行い、北川勲教授を出した。任期は2年間。

——分館長会議——

55. 11. 25(火)15:00~16:50(館長室)

報告事項 1. 附属図書館吹田地区運営委員会について 2. 生物系図書館企画小委員会について 3. 書庫棟増築の日程等について 4. 図書館維持費等の配分について説明があった。

協議事項 1. 学生用図書購入費(追加配分)について 2. 外国雑誌購入費(第1種)についてそれぞれ各館配分について昨年と同じ方法で配分する原案の説明があり、協議の結果、原案どおり承認された。

■■■■■■■■■■ 日 程 ■■■■■■■■■■

55. 10. 1. 昭和55年度第2回近畿地区国公立大学図書館協議会企画委員会(中之島分館)
 55. 10. 2. 昭和55年度第2回国立大学図書館協議会常務理事会 (中之島分館)
 55. 10. 3. 昭和55年度国立大学図書館協議会理事会及び国立大学図書館協議会賞受賞者
 選考委員会 (医学部会議室)
 55. 10. 7. 第8回国公私立大学図書館協力委員会文献複写委員会 (立命館大学)
 55. 10. 14. 生物系図書館企画小委員会開催のための準備集会 (本館)
 55. 10. 16. 第4回国公私立大学図書館協力委員会 (関西大学)
 55. 10. ²³/₂₄. 第51回医学図書館協会総会 (大阪医科大学・宝塚ホテル)
 55. 10. 29. 昭和55年度国立大学附属図書館事務部長会議 (熊本大学)
 55. 11. 4. 薬学部分館運営委員会 (薬学部分館)
 55. 11. 5. 近畿地区国公立大学図書館協議会図書館施設に関する研究集会
 (大阪障陰女子大学)
 55. 11. 7. 昭和55年度近畿地区国公立大学図書館協議会主題別研究集会(大阪女子大学)
 55. 11. 11. 生物系図書館企画小委員会 (中之島分館)
 55. 11. 15. 昭和55年度第2回図書館職員研修講演会 (本館視聴覚室)
 55. 11. ¹⁷/₁₈. 国立大学図書館協議会理事会第2部会作業部会 (中之島分館)
 55. 11. 20. 第9回国公私立大学図書館協力委員会文献複写委員会 (関西大学)
 55. 11. 25. 分館長会議 (館長室)
 55. 11. 26. 昭和55年度近畿地区国公立大学図書館協議会業務別研究集会 (京都大学)
 55. 12. 13. 大学教職員懇談会「大学図書館の将来」 (関西地区セミナーハウス)
 55. 12. 16. 第10回国公私立大学図書館協力委員会文献複写委員会 (関西大学)

■■■■■■■■■■ 館内の動き ■■■■■■■■■■

昭和55年度第2回図書館職員研修講演会

医学部北村旦教授(中之島分館長)の“Caput Medusaeということー私の訪ねた大英博物館からー”の講演が55年11月15日(土)本館視聴覚室で行なわれた。肝臓の病変で生じる蛇のようなすじをCaput Medusaeと表現するが、その言葉の源であるギリシャ時代の髪の毛がすべて蛇の人物のメダルが大英博物館に展示されている話を、ロンドンの文化的建築を始め大英博物館、ケンブリッジ、オックスフォード、ロンドン大学などの風景や図書館活動などスライドをとおして、それぞれの歴史的背景などをまじえての説明に、英国の文化史的な深遠さを感じさせられるとともに、肝臓の病変についての話に健康に対する関心をあらたにさせられる有意義なものであった。

大阪大学附属図書館業務機械化検討委員会

第8回(11月13日)を開催、今後の新システム案、受入整理部門(伊藤)、雑誌管理部門(茂幾)、閲覧部門(石井)について、10月13日、10月28日と2回にわたりそれぞれ検討した結果報告があり、将来計画の概略も明らかになったので、新システム案をまとめ予算要求のための準備作業にはいることに決した。

英国地図地理学関係図書展示会

ブリティッシュカウンシルの依頼を受け昭和55年12月15日～20日まで、本館3階会議室において英国で最近出版された地図、地理学関係の図書の展示会を開催した。地理学の専門図書、雑誌、大型地図本の他、経済地理、歴史地理、都市地理学等の分野を含め約450点を展示した。教官、学生など約260人の入場者があり好評であった。

オンライン情報検索端末機設置

本館に電話公衆回線を利用して情報検索の出来るディスプレイ型端末機を購入した。これにより豊中地区においても日本科学技術情報センターのJOIS、ロッキード社のDialog等の自然科学、人文・社会科学分野の約120のデータベースを利用した検索サービスが可能となった。現在、4月から校費支払の検索サービスの受付が出来るように準備を進めている。

■■■■■■■■■■ 人 事 ■■■■■■■■■■

第4代 大阪大学名誉教授 天野利武先生逝去さる
 附属図書館長 元追手門学院長、大学長

第4代（昭和30年4月～同33年3月）附属図書館長 天野利武先生には、旧臘15日、腎不全のため逝去されました。享年76歳でした。葬儀は、大阪大学御退官後15年間にわたり、学院長および学院大学長として御尽力なされた。追手門学院の学院葬として、同月21日、吹田市千里会館において厳粛のうちにも盛大に営まれた。

先生は、大阪大学附属図書館長選考基準による、言わば、選挙による初の館長として御就任、この年から丁度、評議会規程が改められ、附属図書館長が大学評議員に定められたこととも相俟って、附属図書館を名実共に全学的図書館として位置づけることに多くの努力を重ねられ、その基盤を据えられた方であります。その御努力の一端は、当時10指に余る多くの分館の所蔵図書、雑誌の総合目録として、「大阪大学図書目録—洋書昭和30年度、欧文雑誌昭和31年度—」を作成され、以後10巻まで逐年刊行の例を開かれたことにも現れております。その後の大阪大学附属図書館の歩んだ発展の跡を顧みるとき先生のご功績は、真に大きなものがあることを知らされます。

ここに、謹んで先生の御冥福をお祈り申し上げます。